

校長室より R2 No. 7

稲沢市立大里西小学校長 加藤まゆみ

4年生が、木版画を刷っていました。白と黒のコントラストがステキな自画像ができあがりました。高学年は木のあじわい深い木版画を頑張っています。



みんな、大きくなったね！ できることが増えたね！

今年度、学校に来る日も30日を切りました。だんだんと日常を取り戻してきたかな、という時にまた緊急事態宣言が出されました。2月6日の公開日も実施できず、子どもたちの様子を見ていただくことができませんでしたが、日頃の活動の中で、子どもたちは一生懸命努力し、励まし合い、着実に力をつけています。

各学年、体育の時間に持久走の記録会を行いました。順位や記録をもとに、自分の1年前と比べて納得する子、くやしがる子。ペアで周回を知らせたり、励ましたりする応援の様子。個々の子どもの頑張りと同時に、学級のまとまりも感じました。

頑張りカードをつけて縄跳びにも取り組みました。放課にも、運動場で練習し、きっと家でも頑張っていたことと思います。

生活科や総合的な学習の時間では、本やパソコンで調べ、まとめ、発表しました。資料を集めたりインタビューしたりという情報収集の力、友達と意見交換し協力して作りあげる活動、ICT機器を使う技術、友達の発表を聞いて評価し自分の発表にも取り入れる表現力など、いろいろな場面で力をつけてきたな、と感じます。もちろん、集中力が増し、友達の発表を真剣に聞く姿もうれしく思います。今後、こうした子どもたちの成長の様子を見ていただける場を早くもてることを願っています。



今日の里西っ子 里フェス、大成功！

児童会行事の「里西フェスティバル」通称「里フェス」は、子どもたちにとって楽しい行事の一つです。学年の枠を超え各クラスで工夫をこらして楽しませようと準備・運営をします。

しかし、今年度は実施できるかどうか心配し、2学期から検討しました。感染予防を考え、全校での取組としながらも、お店を回る学年を限定し、回る範囲を決めました。そして、感染予防のために何ができるかについて、子どもたちが進んで考え、密にならないよう並ぶ場所やゲームの方法を工夫し、受付に消毒を置くなど、自分たちの工夫や努力で、行事を行いたいという気持ちを表していました。例年の「おばけやしき」や「めいろ」はできませんでしたが、今年ならではの工夫したお店で、全校の子どもたちが楽しむことができました。児童会役員の皆さんも、頑張ってくれてありがとう。

